

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
33001	X-21-B-2-330014	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
現代アメリカ論	山崎 由起			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

この講義の目的は、民衆の視点を通して、現代アメリカの諸問題を理解することである。とりわけ重要となる19世紀から20世紀への世紀転換期に生じた社会的・政治的・経済的な問題を概観した後、それらの問題の担い手となった多様な人々・集団に焦点をあて、彼らが20世紀後半・21世紀のアメリカの政治・社会・文化のあり方にどのように影響を与えてきたかを考察する。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション
【前・後】【予・復習に4時間】教科書などでどのようなことを学ぶのかを知り、考えておくこと。

第2回

【授】世紀転換期：産業化と移民社会
【前・後】【予・復習に4時間】配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートとプリントで重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第3回

【授】世紀転換期：格差・階級の形成と政治社会のリベラル化・保守化
【前・後】【予・復習に4時間】配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートとプリントで重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第4回

【授】人種・民族と社会：WASP社会の成立
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第5章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第5回

【授】人種・民族と社会：非WASPの白人たち
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第5章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第6回

【授】人種・民族とアメリカ社会：黒人
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第6章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第7回

【授】人種・民族とアメリカ社会：先住民
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第4章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第8回

【授】人種・民族とアメリカ社会：ヒスパニック・ラティーノ
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第7章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第9回

【授】人種・民族とアメリカ社会：アジア人
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第8章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第10回

【授】宗教とアメリカ社会：ピューリタンの遺産
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第13章と配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第11回

【授】宗教とアメリカ社会：福音主義の台頭
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第13章と配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第12回

【授】宗教とアメリカ社会：移民の教会としてのカトリック
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第13章と配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第13回

【授】階級・格差から見るアメリカ社会
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第3章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第14回

【授】ジェンダーから見るアメリカ社会
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第3章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。

第15回

【授】まとめと展望：現代アメリカ社会と時事的諸問題
【前・後】【予・復習に4時間】教科書や配布済みプリントでこれまでの授業内容を振り返っておくこと。

第16回

【授】定期試験
【前・後】【試験準備に最低4時間】教科書、ノート、配布資料でよく勉強して臨むこと。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

定期試験を60%、コメントカードの提出回数・内容を20%、出席と授業貢献を20%として成績判定を行う。成績は本学の基準に従う。

教科書参考書

有賀夏紀・油井大三郎編『アメリカの歴史：テーマで読む多文化社会の夢と現実』(2002年、有斐閣)

受講に当たっての留意事項

前年度までに学んだ「アメリカ史概説」や「アメリカ文化論」などの授業について、よく復習しておくこと。日頃から、アメリカ関連のニュースなどを注意して見聞きしておくこと。

学習到達目標

現代アメリカの持つ様々な問題を、歴史的背景を理解した上で、自分で考察・分析できる力を身につける。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習